



2026年3月期 第3四半期決算短信【日本基準】(非連結)

2026年2月12日

上場会社名 フォーライフ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3477 U R L <https://www.forlifeand.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥本 健二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 兼 (氏名) 櫻井 道貴 T E L 045-547-3432
 総務人事部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
12,069	23.0	588	80.0	518	86.7	340	△15.4	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
85.07	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
100.58	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
10,280	4,154	40.4	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 4,154百万円 2025年3月期 3,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
—	0.00	—	27.50	27.50	27.50
2026年3月期	—	12.50	—	—	—
2026年3月期(予想)				15.00	27.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
17,500	18.5	800	35.3	700	33.5	500	△9.2	125.02	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	4,000,000株	2025年3月期	4,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	772株	2025年3月期	772株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	3,999,228株	2025年3月期3Q	3,999,228株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における日本経済は、日経平均株価が最高値を更新する等、好材料に恵まれており、物価上昇や円安の影響もあるものの、総じて良好な状況にあります。

このような状況の下、当社は、分譲住宅事業と注文住宅事業を収益の柱として事業を推進しております。ペーパス「都市に調和する快適で安心な戸建住宅の提供」のもと、自社設計・自社施工管理による高品質でリーズナブルな住宅の供給により、エリアでの供給実績を積み上げ、持続的成長基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高12,069,989千円（前年同四半期比23.0%増）、営業利益588,649千円（同80.0%増）、経常利益518,016千円（同86.7%増）、四半期純利益340,231千円（同15.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 分譲住宅事業

分譲住宅事業におきましては、販売価格を柔軟に変更する等して適正な価格で販売できるよう注力いたしました。引渡棟数並びに売上高は、前年同期比で増加、増収となりました。利益面につきましても、売上高や利益率が高い物件が多かったこともあり、増益となりました。

仕入に関しては、引き続き、地域密着の深耕営業を軸に、良質な用地の適正価格での取得に努めています。住宅建設においては、新規協力業者の継続的な開拓及び工程管理をはじめとする施工体制の強化、並びに仕様・設備の継続的な見直しにより、実需者ニーズに対応した商品力の底上げと収益性の改善に継続して取り組んでまいりました。

この結果、引渡棟数は215棟（前年同四半期比23棟増）、売上高は10,131,432千円（同27.3%増）、営業利益は902,918千円（同46.9%増）となりました。

② 注文住宅事業

注文住宅事業におきましては、受注価格水準の維持や生産効率の改善に取り組むと共に、戦略的な受注活動や、受注済み案件の採算改善などに注力してまいりました。一方で、建設コストの上昇による影響、担い手の確保や長時間労働の解消などへの対応が急務となっており、油断ができない状況にあります。

前年同期比で、引渡棟数は微増、また平均受注価額が上昇したことにより、売上高は増収となりましたが、利益面では減益となりました。引き続き受注価格への転嫁と一層のコスト低減強化により全体的な利益確保に努めてまいります。

この結果、引渡棟数は64棟（前年同四半期比1棟増）、売上高は1,903,106千円（同8.9%増）、営業利益は107,596千円（同9.4%減）となりました。

③ その他事業

その他事業におきましては、主に京都住宅事業部において、マンション（区分所有）におけるリノベーションを行い、付加価値を高めたうえで一般顧客への販売を手掛けております。なお、京都住宅事業部においては、分譲住宅事業及び注文住宅事業を合わせて展開しております。

また、その他の事業には、既存建物の小規模改修工事が含まれております。

この結果、売上高は35,449千円（前年同四半期比67.9%減）、営業損失は24,945千円（前年同四半期は営業損失11,733千円）となりました。

セグメントの名称	売上高（千円） (前年同四半期比)	引渡棟数 (前年同四半期)
分譲住宅事業	10,131,432 (27.3%)	215 (192)
【うち土地分譲】	[54,630] [△56.5%]	[2] [3]
注文住宅事業	1,903,106 (8.9%)	64 (63)
その他	35,449 (△67.9%)	1 (3)
合計	12,069,989 (23.0%)	280 (258)

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は9,938,639千円となり、前事業年度末に比べて659,721千円増加しました。これは主に、現金及び預金が664,609千円減少した一方、棚卸資産が1,227,421千円増加したことによるものであります。

固定資産は341,915千円となり、前事業年度末に比べて1,973千円増加しました。

この結果、総資産は10,280,554千円となり、前事業年度末に比べて661,694千円増加しました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は6,061,879千円となり、前事業年度末に比べて528,958千円増加しました。これは主に、未払法人税等が253,525千円減少した一方、短期借入金が721,250千円増加したことによるものであります。

固定負債は64,543千円となり、前事業年度末に比べて47,526千円減少しました。これは主に、長期借入金が47,040千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,126,423千円となり、前事業年度末に比べて481,432千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は4,154,131千円となり、前事業年度末に比べて180,262千円増加しました。この結果、自己資本比率は40.4%（前事業年度末は41.3%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」において公表いたしました2026年3月期の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,222,556	2,557,947
契約資産	251,716	327,631
販売用不動産	700,360	758,242
仕掛販売用不動産	4,896,509	6,066,049
その他	207,775	228,769
流動資産合計	9,278,918	9,938,639
固定資産		
有形固定資産	225,336	229,152
無形固定資産	8,472	11,992
投資その他の資産	106,132	100,769
固定資産合計	339,941	341,915
資産合計	9,618,860	10,280,554
負債の部		
流動負債		
買掛金	613,626	642,706
短期借入金	4,171,000	4,892,250
1年内返済予定の長期借入金	73,913	70,560
未払法人税等	278,538	25,013
契約負債	135,483	205,288
賞与引当金	132,950	71,670
その他	127,409	154,390
流動負債合計	5,532,920	6,061,879
固定負債		
長期借入金	104,520	57,480
その他	7,549	7,063
固定負債合計	112,069	64,543
負債合計	5,644,990	6,126,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	154,880	154,880
資本剰余金	104,880	104,880
利益剰余金	3,714,797	3,895,059
自己株式	△687	△687
株主資本合計	3,973,869	4,154,131
純資産合計	3,973,869	4,154,131
負債純資産合計	9,618,860	10,280,554

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	9,814,662	12,069,989
売上原価	8,641,942	10,567,262
売上総利益	1,172,720	1,502,726
販売費及び一般管理費		
役員報酬	82,530	88,990
給料手当及び賞与	145,271	140,890
賞与引当金繰入額	15,570	19,680
販売手数料	288,342	340,870
その他	314,068	323,645
販売費及び一般管理費合計	845,782	914,076
営業利益	326,937	588,649
営業外収益		
受取利息	212	2,470
受取家賃	3,292	1,690
その他	2,461	298
営業外収益合計	5,966	4,458
営業外費用		
支払利息	53,761	74,409
その他	1,710	682
営業外費用合計	55,471	75,091
経常利益	277,432	518,016
特別利益		
固定資産売却益	301,658	—
特別利益合計	301,658	—
税引前四半期純利益	579,090	518,016
法人税、住民税及び事業税	169,694	164,579
法人税等調整額	7,137	13,205
法人税等合計	176,831	177,784
四半期純利益	402,258	340,231

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	分譲住宅 事業 (注) 4	注文住宅 事業 (注) 4	計			
売上高						
外部顧客への売上高	7,957,342	1,746,994	9,704,337	110,325	—	9,814,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,957,342	1,746,994	9,704,337	110,325	—	9,814,662
セグメント利益又は損失 (△)	614,843	118,738	733,582	△11,733	△394,911	326,937

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生住宅事業及び既存顧客による少額工事等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各セグメントに帰属しない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の額は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 分譲住宅事業の売上高は、支配が一時点で顧客に移転する財から生じる収益、注文住宅事業の売上高は、支配が一定の期間にわたり顧客に移転する財から生じる収益により、それぞれ構成されております。

II 当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	分譲住宅 事業 (注) 4	注文住宅 事業 (注) 4	計			
売上高						
外部顧客への売上高	10,131,432	1,903,106	12,034,539	35,449	—	12,069,989
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,131,432	1,903,106	12,034,539	35,449	—	12,069,989
セグメント利益又は損失 (△)	902,918	107,596	1,010,514	△24,945	△396,919	588,649

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生住宅事業及び既存顧客による少額工事等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各セグメントに帰属しない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の額は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 分譲住宅事業の売上高は、支配が一時点で顧客に移転する財から生じる収益、注文住宅事業の売上高は、支配が一定の期間にわたり顧客に移転する財から生じる収益により、それぞれ構成されております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	15,305千円	13,999千円